

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人埼玉県防災士会

事業名	避難所開設キット作成、普及及び啓発事業										
枠の種類	ネーミング事業										
分野	埼玉織物工業協同組合 災害救援・防災支援事業										
①事業の目的・この事業で取り組んだ課題	避難所の開設にあたって、いかに行政と住民が共同で運営できるかによって、被災者のQOLは大きく異なる。また行政サイドも未経験の内容で戸惑いが生じる。更に新型コロナウイルス感染症対策も求められている。										
②課題を解決するため、取り組んだ個々の事業	<p>(1) 避難所開設キット作成と運用方法説明のDVD作成          発災時にだれでも簡単に、避難所を開設運用できるよう、事前に手順書・チェックシート・掲示物・事務用品をステップ毎にファイルケースに入れておくもの。併せて運用方法をわかりやすく説明するDVDを作成する。</p> <p>(2) 地域関係者への啓発活動          避難所立ち上げ方法のDVDを活用しながら、地域関係者への啓発活動を実施する。</p>										
③個々の事業の内容・実施結果	<p>(1) 避難所開設キット作成と運用方法説明のDVD作成          ・開設キットを5セット完成させることができました。          ・紹介用のDVDも作成することができました。</p> <p>(2) 地域関係者への啓発活動          ・普及啓発活動については、「緊急事態宣言」が発せられるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、防災訓練の中止が相次ぎ、また自治体関係者に面会することも難しくなっており、残念ながら活動を進めることができませんでした。</p> <p>○実施スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>避難所開設キット作成プロジェクトチーム発足</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>キックオフ会議開催(計3回打合せ) キット内容物の検討、表示物の検討着手</td> </tr> </tbody> </table>	時期		7月		8月		9月	避難所開設キット作成プロジェクトチーム発足	10月	キックオフ会議開催(計3回打合せ) キット内容物の検討、表示物の検討着手
時期											
7月											
8月											
9月	避難所開設キット作成プロジェクトチーム発足										
10月	キックオフ会議開催(計3回打合せ) キット内容物の検討、表示物の検討着手										

11月	会議開催（検討継続、キット容器の検討）
12月	会議開催（概要決定 仕様書作成）
1月	会議開催（2回）、細部内容検討、外国語翻訳作業
2月	会議開催（資機材発注、印刷発注、キット完成、ビデオ作成）

○広報実績について

広報活動の実施も外出自粛方針、緊急事態宣言発令により、担当部署へのPRは中止、延期となりました。

④個々の事業の実施により達成した成果の具体的な内容

（1）避難所開設キット

- ・5セット完成しました。持ち運びがスムーズにできるようハンドル、キャリー付きのコンテナ容器を利用。堅ろうな造りであり水害にも耐えることができます。
- ・発災時に誰でも簡単に避難所を開設・運用できるように、番号順に作業を進めることができる手順書、トイレ等の表示物（一部が外国語対応）、チェックシート、避難者カード等を装備しています。
- ・詳細な仕様は別紙参照。
- ・紹介DVDを作成しました。とりわけ、新型コロナウイルス感染症防止のため、事前受付（トリアージ）を提案しました。
- ・停電時での活動が進められるよう、記入用紙・表示物は必要数（避難者想定数分）を準備しました。
- ・外国の方でも理解できるよう、印刷物は一部に英語表記を、その他のものには、フリガナをつけました。

● キットの外観



● 上ふたを開けたところ



● 内部



(2) 地域関係者への啓発活動

- ・今年度、多くの市町村では訓練をできる状況になく、会員が訪問することもできなくなっています。多くの行政機関では、危機管理担当とコロナ対策担当が同じであり、そのため防災訓練について、担当課はどうしても対応が十分ではありませんでした。自らの事業でコロナ発生・クラスターは出たくないという思いがあります。
- ・今後は各市町村の防災担当部署、自治会、自主防災組織を対象に働きかけていく予定です。

⑤費用の工夫

- ・新型コロナウイルス感染症防止のため、会議室は広い会場を予約することとなり、当初想定より高額になってしまいました。そのた

	<p>め、会員間の打ち合わせをできるだけ Zoom で行うようにするなど、工夫しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明には一部、英語版を加えたが、中学校の AET に協力いただき、翻訳してもらいました。</li> </ul>
⑥地域社会への還元について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練での話題提供になります。</li> <li>・避難者の QOL の向上につながることを期待できます。</li> </ul>
⑦今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災は、自治体ごとに対応が異なる部分があるため、今回は一般的な内容を記載するようにしました。今後、自治体ごとにカスタマイズされることを想定しています。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症防止のための「事前受付」を付加しているところが、特徴点です。</li> <li>・キャスト・取手付きの堅固な容器を選定しました。</li> </ul>
⑧事業の実施体制	<p>○事業の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総括責任者：理事長 木船 賢治</li> <li>②連絡責任者：事務局長 岡崎 洋志</li> <li>③現場責任者：理事 鈴木 一郎</li> <li>④経理担当者：理事 西田 怜</li> <li>⑤広報担当者：理事 鈴木 一郎</li> </ul>
⑨来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このキットを事前準備することによって、県・市町村・自主防災組織に避難所運営の啓発活動をすることができます。</li> <li>・今期は普及啓発活動ができませんでしたので、今後は、ぜひ実施して行きます。また関係者のご意見を反映させ、より使いやすいキットを継続的に改良させて参ります。</li> <li>・当 NPO の会員が県内の多くの市町村に在住しているため、会員を通じて地域に働き掛けていきます。</li> </ul>
⑩補足事項 (付帯意見への 取組み結果)	<p>《付帯意見》「どのように活用するかを検討してから実施してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設キットは、各市町村防災担当課・自主防災組織への PR (リーフレット及び実物展示)、市町村等が開催する防災フェア等で展示するとの目的をもって制作しました。</li> <li>・キット完成後 県危機管理部や市町村部署に直接 PR して説明会を開催する計画でしたが、今期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、思うように実施することができませんでした。来期以降、キットを地域の防災力向上に、十分に役立てたいと思います。</li> </ul>